

2 家畜衛生対策事業

各種疾病による家畜の損耗防止と生産性の向上を図るため、会議の開催、情報収集と広報、検査・指導等を実施している。

(1) 監視体制整備事業

ア 家畜伝染病防疫対応強化

飼養衛生管理の向上を図るため、会議・研修会や農場巡回により衛生管理を指導

実施内容	実施回数	出席人数/ 実施農場数	対象
地域推進会議	4回	210名	市町、農協、獣医師
衛生管理指導	—	540農場	畜産農家への立入検査 (乳用牛：161農場、肉用牛：242農場 豚：56農場、家きん等：75農場、 その他：6農場)

イ 家畜衛生関連情報整備

家畜衛生対策及び疾病発生状況等の情報を収集・分析するとともに、農家へ情報を提供

実施内容	実施件数	備考
情報の収集	81(件)	家畜衛生に関する対策及び疾病の発生状況等の情報の収集
家畜衛生情報提供	50(回)	家畜衛生に関する対策及び疾病の発生状況等の情報の提供

ウ 疾病検査精度管理推進

適正な精度管理体制の構築による検査技術及び検査結果への信頼性の向上を図ることを目的として、診断用検査機器の定期的な校正を推進するため、資器材の整備、精度管理に係る講習会等の開催及び検査業務管理要領、標準作業書による各種検査の実施

(ア) 資器材の整備及び目的

- リアルタイムPCR検査機器用キャリブレーション用品
(ヨーネ病、鳥インフルエンザ検査等)
- 全自動血球計算機の性能検査用の標準血液
- 富士ドライケムの性能検査用の試薬

(イ) 研修会等

講習会名	開催日	参集範囲	人数
精度管理研修会の伝達復命	H30. 11. 29(木)	所内職員	17名
精度管理の所内研修	H31. 3. 20(水)	所内職員	19名

(ウ) 外部精度管理

農研機構動物衛生研究部門によりヨーネ病遺伝子検査、鳥インフルエンザ ELISA 検査並びに遺伝子検査及び豚コレラ ELISA 検査について評価

(2) まん延防止円滑化対策

特定家畜伝染病に関する連絡会議及び防疫演習の実施協力

実施内容	回数	出席人数	備考
口蹄疫・鳥インフルエンザ対策連絡会議	5	211	各農業振興事務所主催 市町、関係機関、関係団体
鳥インフルエンザ防疫演習(地域)	6	324	机上演習及び実地演習(集合施設、防疫拠点、埋却地及び消毒ポイント作業等)

(3) 慢性疾病等生産性阻害疾病対策

生産性阻害が顕著な農場に対し、調査・検査を行い、発生動向を把握。得られた成績をもとに、対策を検討するとともに、疾病防疫マニュアル作成の基礎とした。

疾病名	畜種	調査戸数	調査頭羽数	実施内容
下痢症 (牛コクシジウム病)	牛	1	92	哺乳子牛の牛コクシジウム病が発生していた農家において、適切な薬剤投与及びコクシジウムオーシストに効果のある消毒剤の使用を指導し、畜主の理解を得て飼養管理が改善したことで、以降は牛コクシジウム病の発生は認められない。
伝染性気管支炎	鶏	1	360,000	発生農場に対し、車両消毒の徹底、鶏舎毎の専用衣服の使用、人の出入りを必要最低限とする入場制限、農場専用器具の使用などを指導した。また、ワクチネーションプログラムを変更し、以降、本病の発生は認められない。

(4) 畜産物安全性確保対策

ア 生産衛生管理体制整備事業

畜産物の安全性の確保を図るため、生産現場に HACCP 方式に基づく飼養管理方式を導入するために必要な検査、指導を実施

区分	戸数	対象項目	実施内容
養豚農家	5	農場 HACCP 構築の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に各農場における情報の分析及び衛生管理システムの見直し等について指導し、関係者を集めた推進会議(33回)を実施した。 ・平成30年度に、養豚農家及び肉用牛農家各々1戸で新規取組を開始した。
肉用牛農家	1		

イ 動物用医薬品危機管理対策

(ア) 動物用医薬品の品質検査・指導

流通段階にある不適正な動物用医薬品を排除し動物用医薬品の品質確保を図るため、動物用医薬品等販売業者への立入検査・指導、医薬品の収去・品質確保検査を実施

立入検査・指導		品質確保検査
対象店舗数	実施店舗数	
116	38	医薬品の収去：県央家保1品目 (収去品目：高張食塩注「KS」) 検査場所：家畜衛生研究部 検査結果：規格範囲内

(イ) 動物用医薬品使用実態調査

動物用医薬品の使用の規制に関する省令に基づく動物用医薬品の畜産物への残留防止を図るため、養豚農家2戸、肉用牛飼養農家1戸及び肉用鶏飼養農家1戸の計4戸について動物用医薬品の使用状況等の実態調査を実施。

各農家とも休薬期間を遵守していたが、1戸の農家で指示量を超えて使用していたため、指示に基づき使用するよう指導した。

(ウ) 薬剤耐性菌の発現状況調査

人と動物の健康に対するリスク分析の基礎資料とするために、薬剤耐性菌の発現状況について調査

対象菌種	対象家畜	対象農家数	検体数	検査株数	実施内容	備考
サルモネラ	牛・豚 鶏	4戸 (0戸)	8検体 (0検体)	8株 (0株)	各種生化学性状検査、薬剤感受性試験及び遺伝子検査を実施	() 管内分
黄色ブドウ球菌	牛・豚 鶏	14戸 (1戸)	19検体 (2検体)	19株 (2株)		